

奥村あきこ レポート



奥村あきこ事務所 中央区月島1-24-2
電話 3531-7136
区議団控室 電話 3546-5575
中央地区委員会 電話 3551-6820



ブログもご覧ください 『奥村あきこ』 で検索！

区議会第一回定例会 一般質問 パート③ 高すぎる教育費と家賃、労働環境の悪化... 子どもの貧困生む社会の転換を

2月26日から3月30日まで、区議会第一回定例会が行われました。3月1日には、私、奥村あきこが日本共産党区議団を代表して一般質問を行いました。今号は一般質問の報告第3号です。

中央区も例外ではない 「子どもの貧困」

貧困と格差がいつそう拡大している中、大きな社会問題となっている子どもの貧困問題について取り上げました。

政府が09年に初めて公式に相対的貧困率を発表した「子どもの貧困率」は、約7人に1人でしたが、昨年発表された最新数値（12年）では約6人に1人へと拡大しており、特にひとり親家庭の子どもの貧困率は50%を上回り、OECD加盟国で最悪となっています。



質問する私（3月1日）

高所得の世帯が多いと思われる中央区でも、就学援助を受けている要保護世帯、準要保護世帯の子どもの割合は、2014年度は小学生で6人に1人、中学生で4人に1人となっています。

「区内の子どもの貧困についてどう把握しているのか」との問いに、区長は「経済的に困窮した共働きやひとり親の家庭の中には、最低限の生活にも困っている保護者やひとり親で過ごす時間の多い子どもも見受けられる」

と答えました。

深刻な雇用破壊

貧困に大きく影響

働き盛りの世代で非正規雇用が急増し、貧困に拍車をかけていることも深刻です。長時間労働で子どもと向きあう時間が取れないという働き方の問題もあります。

私は「子どもの貧困を生み出す社会是正のために何が必要だと思うか」問うと、区長は「雇用対策や働き方の見直しなど、仕事と生活の調和を実現できる社会づくりが大切」との認識を示しました。

【…次ページに続く】

日

【質問事項】

- 一. 安保法制と安倍政権がねらう憲法改定について
- 二. 破たん明白なアベノミクスについて
- 三. 区長の所信表明について
- 四. 子どもの貧困について
- 五. シルバー人材センターについて



熊本で震度7 救援募金に ご協力を

4月17日(土)、第68回「築地市場現在地再整備を求める街頭演説&署名行動」を行いました。併せて、熊本地震の救援募金も訴えました。募金へのご協力をよろしくお願いします。

受付先 郵便振替 00170-9-140321 日本共産党災害募金係
※必ず「熊本震災救援募金」とご記入ください。

保護者負担の軽減を

日本の高すぎる教育費も大問題で、OECD加盟各国の2012年の国内総生産(GDP)に占める教育機関への公的支出の割合が、日本は3・5%で最下位です。

「給付型奨学金制度の創設や学校教育の無償化など、お金のあふなしに関わらず誰もが学べるようにすべきでは」との私の質問に、教育長は「国の責任で必要な予算が確保されることは、非常に重要」と答えました。

私が「中学校に配置しているスクールソーシャルワーカー(※)の小学校への拡大」を求めたところ、教育長は「中学校での活動状況を検証し検討する」と答えました。

また、区立ひとり親住宅や区営住宅の拡充、民間賃貸住宅への家賃補助も求めましたが、区長は「財政負担や土地の確保が大きな課題」と消極的な姿勢でした。

地域での活動 行政が支えて

貧困世帯の子どもたちに食事を提供する「子ども食堂」が、

反対すべきものには、きっぱりNO!

区議会第一回定例会では、区長から41件の議案が提案され、日本共産党区議団は計13本の議案に反対しました。

3月4日、私が所属する区民文教委員会に付託された議案5件のうち、私は下記の2件に対し反対意見を述べました。

【議案第23号 中央区印鑑条例の一部を改正する条例】

…マイナンバー制度における個人番号カードを利用して、民間事業者が設置するコンビニの多機能端末機から、住民票や印鑑登録証明書を交付できるようにするものです。個人情報漏えいの危険を広げるものとして反対しました。

【議案第33号 中央区立幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例】

…2007年の国家公務員法改正により導入された能力・実力主義にもとづく人事評価制度を地方公務員にも導入するものです。公正中立の立場で国民の権利と福祉の実現のためにその能力を発揮すべき職員を、任命権者である区長の意に沿う職員しか評価されないものへと変質させかねないことから反対しました。

※反対意見全文は、区議団HPよりご覧いただけます。



勝どき地域でも開催されていることを紹介し、「行政の支援」を求めたところ、区長は「関係団体等とも連携し、子どもが地域で安心して暮らせ、健やかな成長がはかれるよう取り組んで行く」と前向きな答弁をしました。

【質問全文は区議会HPより音声でお聞きいただけます】

※スクールソーシャルワーカー

は、社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を持ち、子ども本人と向き合うことに加え、家庭や行政、福祉関係施設など、外部機関と連携しながら、子どもを取り巻く環境を調整する役割を担っており、家庭訪問もできる貴重な存在です。